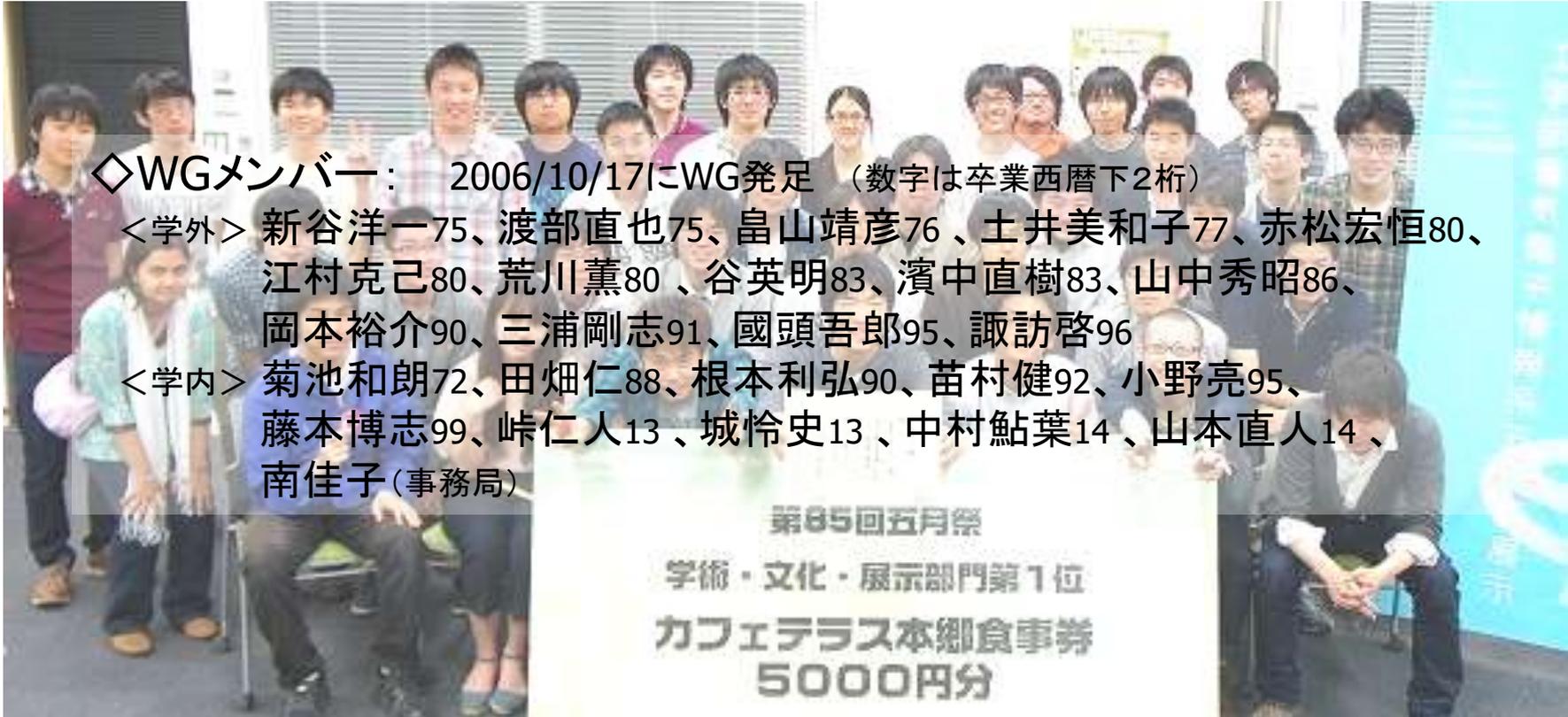


一歩進んだ同窓会活動を目指して 同窓会活性化WGの活動報告

◇WGメンバー： 2006/10/17にWG発足（数字は卒業西暦下2桁）

<学外> 新谷洋一75、渡部直也75、畠山靖彦76、土井美和子77、赤松宏恒80、
江村克己80、荒川薫80、谷英明83、濱中直樹83、山中秀昭86、
岡本裕介90、三浦剛志91、國頭吾郎95、諏訪啓96

<学内> 菊池和朗72、田畑仁88、根本利弘90、苗村健92、小野亮95、
藤本博志99、峠仁人13、城怜史13、中村鮎葉14、山本直人14、
南佳子(事務局)



第85回五月祭
学術・文化・展示部門第1位
カフェテラス本郷食事券
5000円分

活性化の狙い：第2段階へ

【第1段階】 ICT活用の推進： 顔の見える関係づくり、若年層対策

【第2段階】 一步進んだ同窓会活動： 世代縦断的繋がり醸成、会内コミュニティ形成

* ホームページ運営 (会員の情報発信促進)

* 会報に替わるWeb縮刷版

注) HCD: 東京大学ホームカミングデイ

* 総会イベント・懇親会を定例化 (HCDに併設)

* メールマガジン発行 (一斉メール)

* 事務管理オンライン化 (名簿検索、各種払込み)

* 歴史アーカイブ (セピア色の三号館)

* コミュニティ会館サイト

* 若年層対策 (五月祭企画支援)

WGの活動内容

一步進んだ同窓会活動へ

2012～16年度

<会員活動の促進>

世代縦断的繋がり醸成

会内での各種コミュニティの立上げ

ICTの活用促進

2008-11年度

<情報交流の活性化>

会員の相互交流の場づくり

(例: クラスブログ、歴史アーカイブ)

<従来同窓会>

会報・名簿型

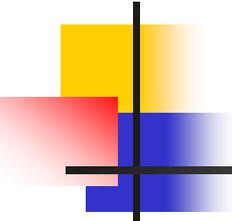
2007年5月

<ICT基盤の構築>

本体HPでの情報掲載

クラス単位のページ構築、地方支部のページ

会員との双方向チャネル構築 (名簿システム、一斉メール)



これまでの活動成果

- ICT活用促進の成果
 - HP、メルマガでタイムリーな情報提供が可能となり、同窓会イベント、総会の参加者が増加
 - 会員サービスのオンライン化で会員の手間が軽減され、財務上の効果（会計繰越金が増加傾向）
- 若年層に向けた成果：五月祭企画支援を通じて
 - 進学振り分けが回復傾向
 - 学生が同窓会の役割を認識（今後の同窓会会費支払い増に期待）
 - 五月祭を契機にクラスの絆が強化

五月祭企画支援

- 電気系五月祭委員会の企画支援
 - 支援内容:パンフレット、講演会、学術展示等
 - 同窓会員100名からの寄付(98万円)
- MF Awardsの学術文化展示部門1位受賞
- 五月祭委員会の付随活動
 - 駒場進学振り分けガイダンスでアピール
 - 進学生歓迎会、外部イベントなどの実施

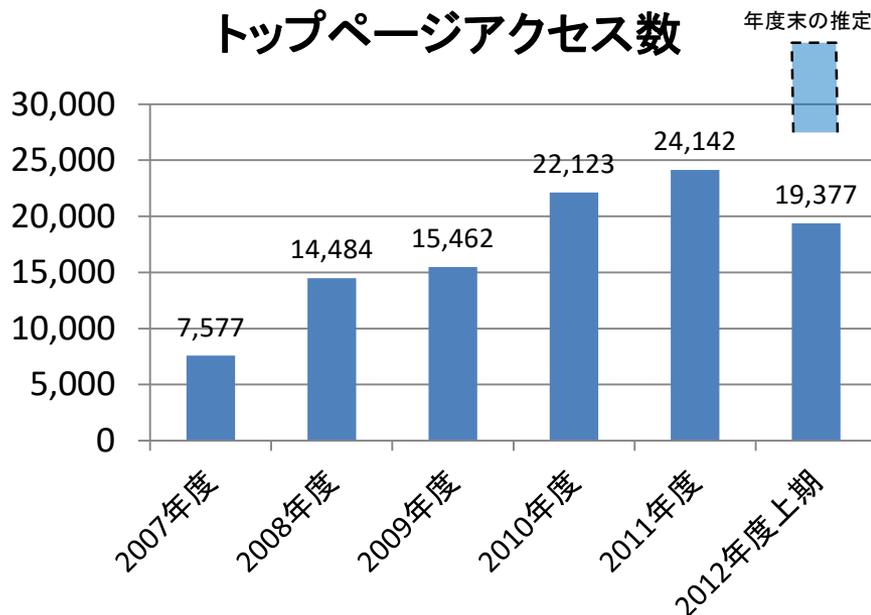


同窓会HPの状況

<http://todaidenki.jp/>

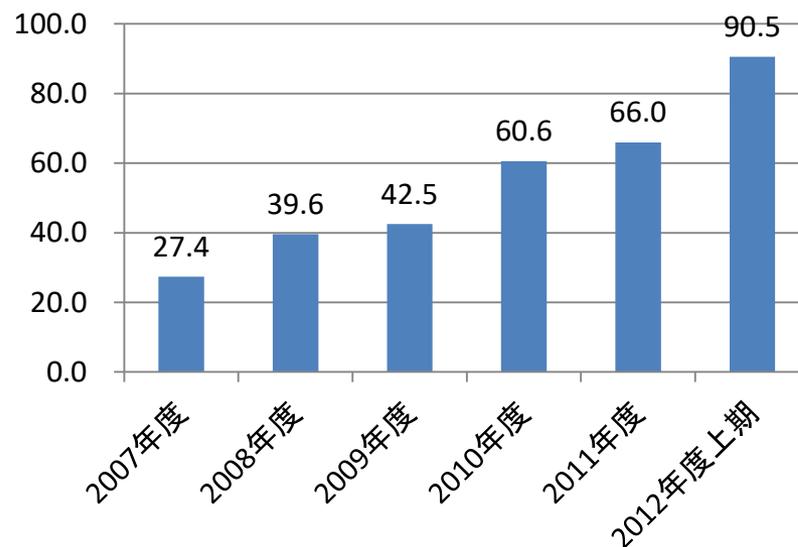
アクセス総数、一日当りアクセス数共に年毎に増加傾向

トップページアクセス数

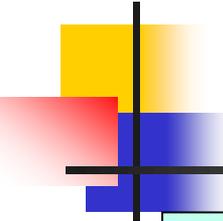


(1) トップページのアクセス総数

アクセス／日



(2) トップページの一日当りアクセス数



第2段階に向けた指針

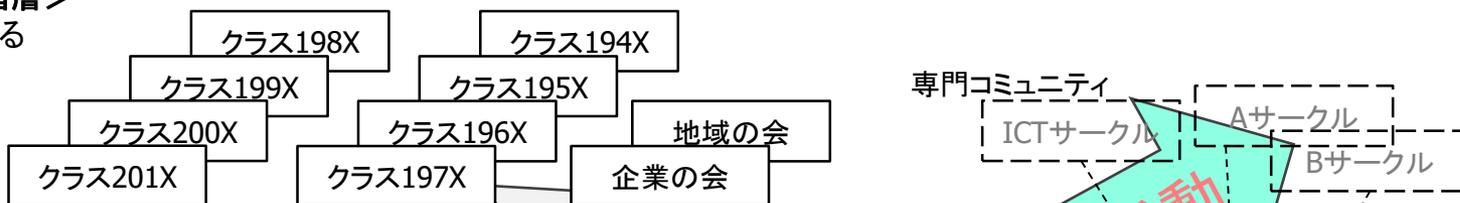
第1段階のICT活用を踏まえ、第2段階の一步進んだ活動へ

- 世代縦断的な繋がり醸成：
 - 先輩、後輩が気兼ねなく集える場
 - 後輩が先輩の経験と知恵を借りる
 - 先輩が後輩の新技术を学ぶ
- 会内コミュニティの形成：
 - 会内コミュニティを軸とした会員アクティビティ向上
 - 会員の自己研鑽を促進するサークル形成
 - 会員のもつ見識、知識、技術を活かす事業企画

同窓会活動の構造と今後の方向

<コミュニティ階層>

会員が主催する
各種集まり

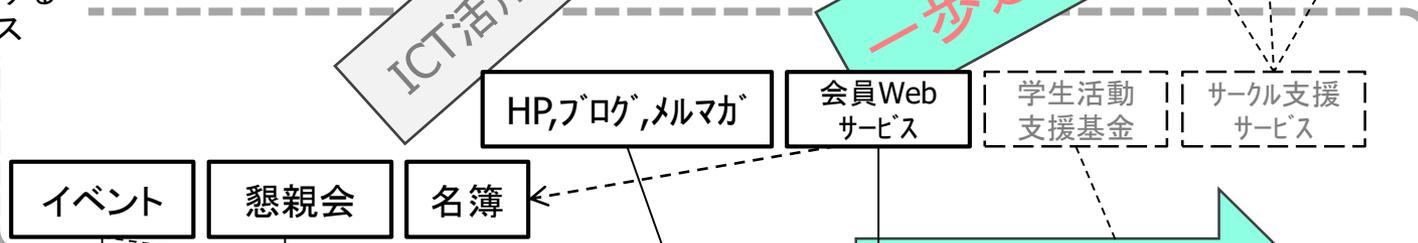


<サービス階層>

会員に提供する
各種サービス

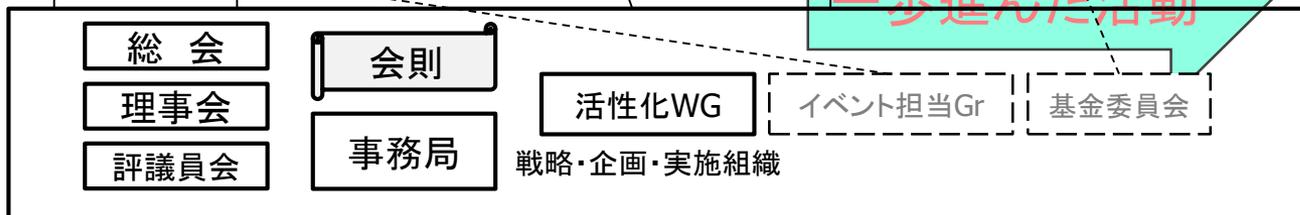
レベル2

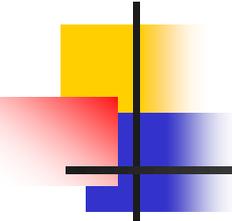
レベル1



<コア階層>

同窓会の
基本となる
運営組織





一歩進んだ同窓会活動へ

- 学生活動支援の基金設立に向け
 - 狙いは、若年層の理系電気系サポータを増やす活動支援
 - 電気学部生の相互の絆を強化し、同窓会の役割を認識させ、同窓会加入を促進する活動への支援
 - シニアと若年層の世代間交流促進の切っ掛け
- イベント担当グループの形成へ
 - 毎年のイベントを会員全体で支える仕組み作り
 - 担当グループを形成して企画推進(評議員、企業、クラスなど)
- サークル形成の支援に向けて
 - 会内で新たなグループ、サークルの形成促進
 - そのための各種支援サービスの検討